

「感謝」と「対応力」

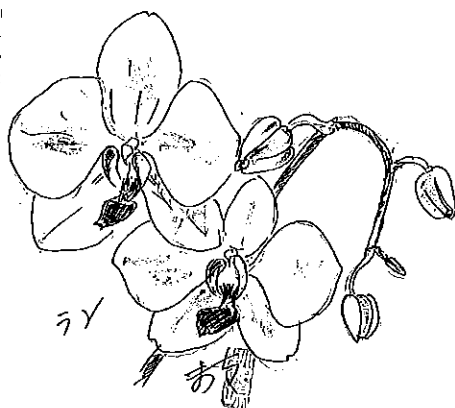
体育大会が終わりました。先週は、観測史上2番目に早い“梅雨入り”のため、天気予報が1日1日変わり、本当にヤキモキしましたが、何とか天気が持ち、予定通り、グラウンドで開催することができました。開会式では「“至誠通天”、誠意を持って、体育大会に備えた皆さんや先生方の熱い思いが、天に通じたと思っています。皆さんの熱い思いである加中魂を競技に込め、雨が熱湯になるくらい、熱闘してほしいと思います。」とあいさつをしました。結局、ほとんど雨が降ることもなく、全ての競技や演技を終えることができました。最後のあいさつでも、以下のような話をしました。



今日のキーワードは2つ。1つめは“感謝”。開会式の生徒会長・山田君のあいさつにも、保体委員長・本多さんの選手宣誓にも、この“感謝”という言葉がありました。また、赤団・青団の紹介にも“感謝”の言葉が使われていました。今日は”仲間や先生方に感謝する気持ち“が十分伝わるような競技・演技を見ることができました。2つめは”対応力“。「災い転じて福となす」という言葉がありますが、今回、雨天時体育館での実施を想定して、急遽、応援合戦の練習を行いました。リーダーが中心となり、僅か2日で見事に準備できたからこそ、今回、プログラムに無かった応援合戦を披露することができました。”梅雨入り“という災いを、”応援合戦実施“という福に転じた。この対応力に本当に感服しました。今回の大きな成果であるこの”対応力“を今後の生活や行事に活かして欲しいと思います。

コロナ禍のなか、梅雨で雨が心配なかでの多くの保護者の皆様のご来校、心のこもった温かい応援、誠にありがとうございました。生徒の力になったと確信しています。感謝感謝です。

次は……



「体育大会が終わってホツと一息」といきたいところですが、そうはいきません。6月の最大の行事と言えば、やはり中体連。昨年度はコロナ対応で県大会は実施されず、市独自で7月に大会が実施されました。今年は例年のように6月13日(日)、14日(月)に市球技・武道大会、6月24日(木)に市陸上大会が計画されています。また、県大会も実施の予定です。しかし、コロナ第4波の影響で、現在、高校では土日の練習を休止としています。中学校においても同様の対応になる可能性があります。しかし、「備えあれば憂いなし」です。大会に備えてしっかり準備を行ってほしいと思います。特に3年生にとっては、最後を締めくくる大会となります。感動の中体連になることを願っています。